

市町村立図書館等活動支援誌



# あけぼのぶんくん

No.46

2013年12月27日発行

主な内容

- 道内図書館(室)トピックス
- 特集 ビブリオバトル
- お役立ち情報

北海道立図書館

〔目 次〕

■ 道内図書館(室)トピックス .....	2
1 豊富町の図書室が「情報交流コーナー」として「ふらっと★きた」に移 転	
2 石狩市民図書館、名取市図書館、輪島市立図書館の友好図書館調印式	
■ 特 集 .....	4
ビブリオバトル	
■ お役立ち情報 .....	5
1 生きる力をはぐくむ子どもの読書活動ネットワークフォーラム ー平成25年度子どもの読書活動推進「読書コミュニティ拠点形成支援」 事業（文部科学省委託）ー	
2 「ミステリー展」「漢字クイズ展」（当麻町立図書館製作）の掲示物を利用し ませんか？	
■ 北海道教育委員会の子ども読書に関する取組 .....	6

## ■道内図書館(室)トピックス

### 1 豊富町の図書室が「情報交流コーナー」として「ふらっと★きた」に移転

9月1日、豊富町定住支援センター「ふらっと★きた」がオープンしました。

これは、保健センターの新設に合わせ、町内の老朽化した公共施設を統合し、多世代交流機能を有する複合施設として建設されたものです。

保健、福祉、生きがいなどのサービスを通じて、様々な住民活動の交流が生まれることにより、住民が健康で安心して豊かに暮らせるまちづくりを推進し、町内での定住環境を整備することや、多くの住民が利用することにより、まちなかの活性化を図ることが期待される施設です。

センターには、親子交流コーナー（親子で遊べる室内公園）、学童保育、保健センター、情報交流コーナーのほか、多目的ホール、会議室、スタジオ、研修活動室、調理室などがあります。

センターのおよそ5分の1の面積を占めるのが、情報交流コーナーです。豊富町の図書室は、町民センターの1階にありましたが、定住支援センターの新設に伴い、情報交流コーナーに移転しました。白木の書架の間どころどころに配置されたベンチが印象的な、明るいオープンスペースです。

6月25日には、移転を前に、当館の運営相談を実施しました。教育委員会担当者、センターのスタッフ、宗谷教育局社会教育指導班と一緒に、新旧施設を見比べてディスカッションをしながら、蔵書の移動や配架について助言等を行いました。

8月3日、町民センター図書室を閉室し、8月31日まで移転作業が行われました。

情報交流コーナーの収容能力は2万冊で、現在約1万4千冊を配架しています。読み聞かせコーナーがある幼児用の絵本コーナー、インターネット閲覧PC、DVD視聴設備もあります。閲覧は午前9時から午後9時まで、カウンター業務は午前10時から午後8時まで行っています。

センターには親子交流コーナーがあることもあり、町内や近隣市町村の親子連れが多数訪れるようになりました。また、利用登録者数は、7月までの377人に対し、11月までに656人と大幅に増加し、生活雑誌や小説などがよく利用されているようです。



情報交流コーナー全景  
(幼児用の絵本コーナーは、写真右の  
カウンターの奥にあります。)



絵本コーナーにある読み聞かせコーナー

## 2 石狩市民図書館、名取市図書館、輪島市立図書館の友好図書館調印式

10月27日（日）、第24回石狩市民図書館まつりの中で、宮城県名取市図書館、石川県輪島市立図書館、石狩市民図書館の3館による友好図書館調印式が行われました。離れた地域の図書館が提携を結び、多くの面で協力し合うという友好図書館の試みは全国でも珍しく、各方面から注目されています。



石狩市民図書館と名取市図書館のかかわりは、一昨年に発生した東日本大震災にさかのぼります。震災により、東北地方の図書館は大きな被害を受けました。名取市図書館も被災し、一時的に図書館サービスの提供が止まる事態となり、その時に、石狩市民図書館の職員がボランティアで応援に駆けつけ、3週間にわたって復興支援に尽力しました。図書館の復旧に加え、避難所を訪問しての読みきかせや昔あそびのおもちゃのプレゼントなども行い、その様子については、石狩市民図書館 HP に「がんばろう、なとり」と題した「名取市支援活動報告」を掲載して、ほぼ毎日詳しく報告されました。

また、石川県輪島市立図書館とは、北前船の歴史をめぐる交流を契機に昨年8月、石狩市と輪島市が友好都市提携を結んだことから、それぞれのまちを紹介する資料展示が行われるなど、図書館間の交流が活発になってきていました。

今回、これまでに培った石狩市民図書館と名取市図書館、輪島市立図書館の友好関係を永続的なものとするため、3館による友好図書館提携を結び運びとなりました。

調印式は、石狩市長の挨拶で始まり、協定書への署名調印、記念のケーキ入刀と進められました。その後、調印式の参加者、見学者に切り分けたケーキが配られ、終始なごやかな雰囲気の中、各図書館長のスピーチ、藤女子大学のボランティアサークル「ばるーん」のみなさんによるハンドベル演奏などが行われました。

今後も、各図書館が所蔵する郷土資料の交換や、それぞれのまちを紹介する資料展示会の開催、職員を派遣しての講演会の開催など、活発な交流が期待されています。



参加者へのケーキ配布。皆でおいしくいただきました。

## ■特集 ビブリオバトル

### ★ 知的書評合戦「ビブリオバトル」とは

書物という意味の「ビブリオ (biblio)」と戦いという意味の「バトル (battle)」を組み合わせた造語で、参加者がそれぞれの選んだ本の素晴らしさを書評で競うゲームです。日本各地で開催されており、道内でも書店、大学、商店街などで開催されているので、ご覧になった方も多いのではないのでしょうか。しかし、たくさんの聴衆を集めて、大きな会場で行うだけがビブリオバトルではありません。少人数で手軽にできるのがビブリオバトルです。

### ★ 北海道図書館大会の分科会でも好評

平成25年度第55回北海道図書館大会において、ビブリオバトル北海道代表で室蘭工業大学准教授の須藤秀紹氏を講師に、分科会「これからの読書推進のためのプログラム理解～ビブリオバトルの手法と効果～」を行いました。

この分科会は体験型で、参加者はグループに分かれてお気に入りの本の紹介合戦を行いました。アンケートの結果は「よかった」がほとんどで、「バトルと聞いて攻撃しあうのかと思ったが、全然違った。プレゼンカアップに良いと思います。」「ビブリオバトルは大勢の前で発表するものというイメージがあったが、少人数でもできると知り、ハードルが下がった気がしました。」「ビブリオバトルについて全く知識がなかったが、実際に体験して面白いなと思った。中学・高校といわず、小学校くらいからやっても面白いのではないかと考えた。」といった感想が多数寄せられました。

### ★ 中学校での実施例

三笠市立図書館では、10月30日、萱野中学校（生徒数20名）において、市町村活動支援事業「学校ブックフェスティバル」を行いました。

本選びに先立って行ったのがビブリオバトルです。ビブリオバトル北海道副代表の安部尚登氏からビブリオバトルのルールを教わり、4人1グループでゲームを行いました。生徒たちは5分間の説明に苦戦しながらも、改めて本の楽しさを知ったということです。



### ★ ビブリオバトルについては、次の本・サイトなどが参考になります。

- ・ 「ビブリオバトル 本を知り人を知る書評ゲーム」 谷口忠大著 文春新書 2013年
- ・ 知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト <http://www.bibliobattle.jp/>
- ・ 第55回北海道図書館大会 大会記録（第1分科会）  
<http://www.library.pref.hokkaido.jp/web/relation/hts/index.html>

## ■お役立ち情報

### 1 生きる力をはぐくむ子どもの読書活動ネットワークフォーラム

ー平成25年度子どもの読書活動推進「読書コミュニティ拠点形成支援」事業（文部科学省委託）ー



地域における子どもと本をつなぐ人たちのネットワークづくりをめざして、平成26年1月25日（土）にホテルライフオート札幌でフォーラムが開催されます。

オープニング後、黄川田としえ氏による「読書と料理の楽しいコラボ～絵本の世界を食卓に！」と題した講演会（トークショー）です。

トークセッションでは、「地域における読書活動の充実～様々な体験活動の活用～」をテーマに、読み聞かせや読書キャンプの事例発表があります。

このほか、ビブリオバトルの取組の紹介・体験、子どもの読書に関する図書館・学校・民間団体・企業等の取組を紹介する展示ブースがあります。

また、幼児や小学生向けには文学館ツアーが開催され、「わくわく子どもランド」や「ゆらゆらアニマル」の工作等の体験活動をすることができます。

詳細、申込み方法は、北海道教育委員会ホームページをご覧ください。

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sgg/H25dokushoforumoshirase.htm>

### 2 「ミステリー展」「漢字クイズ展」（当麻町立図書館製作）の掲示物を利用しませんか？

当麻町では、平成24年度、図書館フェスティバルにおいて「あなたも名探偵？ミステリー展」を開催しました。（「漢字クイズ」も同時開催。）その際製作した掲示物を、他の図書館でも使っていただけるようにと、当館に寄贈していただきました。

掲示物には、展示の題字や両クイズの問題のほか、シャーロック・ホームズやアルセーヌ・ルパンの履歴書を記載したパネル等があります。

北竜町では、図書館フェスティバル（平成25年11月開催）において、それらを利用して展示を行いました。

当館からは、アガサ・クリスティーやコナン・ドイル、江戸川乱歩などのミステリーの有名作品や、漢字にまつわる本を貸し出し、展示に活用していただきました。

北竜町の図書館フェスティバルは今年で開催2年目。町民文化祭に合わせての実施で、展示もその他の催しも大好評だったそうです。

大人も子どもも楽しめるこの展示を、あなたのまちでも開催してみませんか。

掲示物のお問い合わせ・貸出申込みは、企画支援課で随時お受けしています。



## ■北海道教育委員会の子ども読書に関する取組

- ・北海道子ども読書活動推進ホームページ  
北海道子どもの読書活動推進計画や「理科読おすすめ本リスト」、読書活動普及・啓発資料など、北海道の読書活動に関する情報を見ることができます。  
ホームページ：<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/move/dokusyo/dokusyoindex.htm>
- ・北海道「朝読・家読運動」  
子どもの読書習慣は、日常の生活を通じて形成されます。読書が生活の中に位置付けられ、継続して行われるよう、家庭での読書活動の習慣化に向けて取組む運動を行っています。  
ホームページ：<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/move/dokusyo/asadokuuchidoku.htm>
- ・北海道親力（おやりよく）つむぎ事業  
家庭や地域の教育力の向上を図り、地域全体で子どもたちを守り育てる社会の実現を目指す事業で、保護者と子どもの絆をつむぐ取組として、「朝読・昼読運動」「ブックスタート事業」が取り上げられています。  
ホームページ：<http://www2.manabi.pref.hokkaido.jp/dokyoi/oyaryoku/index.php>
- ・ほっかいどう学力・体力向上運動  
子どもたち一人ひとりに、社会で自立して生きていく上で必要な学力や望ましい生活習慣や規範意識を確実に身に付けさせることができるよう、学校・家庭・地域・行政が一体となって進めている事業です。リーフレット「時間の目安を決めて子どもの生活リズムを整える！」の中で、読書習慣について取り上げられています。  
ホームページ：[http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksk/undou\\_page.htm](http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksk/undou_page.htm)

## みなさんの図書館（室）の情報をお寄せください。

新規事業、図書館イベント、子どもの読書活動推進計画、学校や地域との連携、移転・新改築などの情報をお待ちしています。

---

### あけぼのつうしん No. 46

発行日 平成25年12月27日

編集 北海道立図書館総務企画部企画支援課

発行 北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町 41 番地

TEL 011-386-8521

FAX 011-388-2063(総務企画部)

ホームページアドレス <http://www.library.pref.hokkaido.jp/>